

透析専門医に認定されて

高橋 達世
腎臓専門医
透析専門医
総合内科専門医

近年の高齢化に伴い、慢性腎臓病患者、新規透析導入患者の高齢化も進行しています。2013年末現在、新規透析導入患者の導入時平均年齢は男性が67.86歳、女性は70.37歳、全体では68.60歳でした。維持透析患者の平均年齢は67.20歳で、1983年の48.3歳と比較しても患者層の高齢化が進行していることがうかがえます。(図説 我が国の透析療法の現況 日本透析医学会ホームページより)

この高齢化に対して、当病院の腎臓内科では、第一に慢性腎臓病の早期発見と早期治療を行い、腎不全への進行を防ぐという目標があります。そして第二には、透析になった場合でも、透析生活の充実とQOL (Quality Of Life) の向上が大切であると考えています。

このたび、透析専門医として透析医学会より認定されました。専門医として保存期から継続して治療を行い、まずは透析に対する不安を取り除いていく、そして、透析が始まったら治療による負担ができるだけ少なくなるよう適正透析に努めたいと思っております。

透析治療は、薬物療法だけではなく、食事療法やリハビリ、フットケア、日常生活などの改善によりQOLが改善されます。私自身が医師として、透析治療を行うとともに、透析室のチームの一員として看護師・透析技師・栄養士・薬剤師・ソーシャルワーカーなど、他職種と協力してその患者さまにあったテーラーメイドの医療が提供できるよう努めてまいりたいと思っております。



【透析センターご案内】

- 外来透析・入院透析・緊急透析に対応、送迎サービスあり（無料、車椅子対応）
- 内科、外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、栄養科とのチーム医療
- ◆ 腎臓・透析に関するお問合せ、見学のお申込み：☎（0836）65-2511（直通）